

強い農業づくり交付金(産地競争力の強化)実施状況一覧

平成23年度																				
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H25稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H25目標値 (C)	H25実績 (D)	目標達成 状況		
1	産地競争力の強化に向けた総合的推進	23	横手市	雄物川町 北部地区	秋田ふるさと 農業協同組合	(新規需要米) 貯留乾燥設備増設 (丸ピン250t 1基)	74,356	26,673	処理量 (玄米)  1,080t	968.0t	89.6%	H25	新規需要米の10a 当たり労働時間を 35.1%削減	(H22) 20.5時間	(H25) 13.3時間	13.3時間	12.7時間	108.3%	A	新規需要米の10a当たり労働時間は、施設導入を機に刈取等秋作業を農事組合法人に集約した結果、目標を達成できた。今後は、プール育苗技術を確立し、春作業でも削減を目指したい。 物財費については、前年より削減されているものの、育苗時の一発施肥剤の箱処理施肥技術がきちんと確立されておらず、目標までは削減できなかった。今後は、育苗期の施肥技術を確立して肥料費を削減するとともに、農薬費についても農薬使用回数の削減により、目標達成を図りたい。
														A	100%以上(目標達成)					
														B	80~99%					
														C	50~80%(改善指導対象)					
														D	50%未満(改善指導対象)					

平成23年度(繰越)																				
No	対策名	実施年度	市町村名	地区名	事業実施主体名	施設概要等	事業費 (千円)	国庫交付金 (千円)	利用計画等	H25稼働状況等		目標年度	成果目標等						事業効果の発揮状況等 (未達成の理由)	事業実施主体のコメント等
										実績	稼働率		項目	現況 (A)	最終目標値 (B)	H25目標値 (C)	H25実績 (D)	目標達成 状況		
2	産地競争力の強化に向けた総合的推進	23	秋田市	旧秋田市 東地区	新あきた農業 協同組合	(水稻) 品質向上物流合理化 施設 (処理量3,000t)	162,472	77,368	処理量 (玄米)  3,000t	2,682.9t	89.4%	H25	事業実施地区にお ける1等米比率を 14.1ポイント向上	(H22) 75.9%	(H25) 90.0%	90.0%	96.2%	144.0%	A	事業実施地区は、当JA管内において1等米比率が常に低い地域であったが、施設整備により1等米比率が大幅に向上し、当JA管内で最も高い地区となった。 高温耐性品種の作付については、「あきたこまち」から「ひとめぼれ」への転換が進まず、目標達成出来なかったが、わずかな増加傾向にあるが、収量性などの面から伸び悩んでおり、目標達成には至らなかった。
3	産地競争力の強化に向けた総合的推進	23	横手市	雄物川地区	秋田ふるさと 農業協同組合	(水稻) 穀類乾燥調製貯蔵 施設 (処理量3,000t)	820,470	367,500	処理量 (乾籾)  3,000t	2,053.1t	68.4%	H25	事業実施地区にお ける下位等級指数 を51%削減	(H22) 8.2%	(H25) 4.0%	4.0%	6.1%	50.0%	C	下位等級指数については、事業実施前より改善されているが、昨年はカメムシ多発警報が発令されるほどカメムシが多発したこともあり、防除の徹底を指導したが目標達成できなかった。今後は、市等で作成したカメムシ防除対策パンフレットを農家全戸配布し、原因となるカメムシ防除の徹底により目標達成を図りたい。 重金属等有害物質の低減のための湛水管理については、整備施設には汚染米を一切荷受けさせないことを強調し、座談会の開催、営農情報等での周知、営農指導員・水管理巡視員のほ場巡回指導等を徹底したことにより、目標達成できた。
														A	100%以上(目標達成)					
														B	80~99%					
														C	50~80%(改善指導対象)					
														D	50%未満(改善指導対象)					